



雨上がりの7月4日(土)、あじさいの里であじさい^{せんてい}剪定を行いました。数日前からの雨で作業ができるか心配されましたが、あじさい公園には約450人ものボランティアの皆さんが集まりました。府川町長のあいさつ、剪定指導員の紹介や作業の手順についての説明が終わると一斉に、個人や団体が割り振られた区域のあじさい剪定に取りかかりました。

手慣れた人や切る位置を何度も確認している人など、その手際やスピードは様々ですが、来年もきれいな花が咲くようにとあじさいへ込められた想いは同じです。

剪定ボランティアの参加者は、町民だけでなく、近隣の市町から毎年参加している人、フェイスブックを見て初めて参加した人など、あじさいを通じてボランティアの輪がどんどん広がっています。

あじさい剪定ボランティア



開成の夢を育てる あじさい基金 にご協力を

あじさいの里内のあじさいの維持・管理のために、役立てられています。

あじさいまつり期間中もたくさんの皆さんに募金していただきました。町では年間を通じて寄附を受け付けています。

ご協力をお願いします。



特集

来年も

きれいな花を咲かせるために

問 産業振興課 ☎84-0317

6月6日(土)から14日(日)までの9日間にわたり、開催されたあじさいまつり。田んぼのあぜ道に植えられた5000株ものあじさいは、ほかではなかなか見られない開成町の風景です。そのあじさいを見るため、この時期多くの観光客があじさいの里へ足を運びます。

しかし、この美しい風景は簡単には作り出すことができません。なぜなら、この見事なあじさいには、それに見合うだけの手入れが欠かせないからです。

来年もきれいな花が咲くようにと、ボランティアであじさいの世話をする人たちがいます。

